

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品名	： サビ除去剤 LD-7
会社名	： キヤノンメディカルシステムズ株式会社
住所	： 神奈川県川崎市幸区柳町 70 番 1 号
電話番号	： 044-520-2430
FAX 番号	： 044-520-2681
推奨用途	： サビ除去剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	： 引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	： 急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分 1
	： 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
	： 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (呼吸器系)
環境に対する有害性	： 水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語	： 危険
危険有害性	： 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 (H314) 重篤な眼の損傷 (H318) 臓器の障害のおそれ (呼吸器系) (H371)

注意書き

[安全対策]	： 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260) 取り扱い後はよく洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
--------	---

- [応急措置] : 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
(P301+P330+P331)
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる
こと。(P304+P340)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを
着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P305+P351+P338)
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
(P308+P311)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)
- [保管] : 施錠して保管すること。(P405)
- [廃棄] : 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄する
こと。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名称	濃度	CAS 番号
非イオン界面活性化合物	非公開	非公開
りん酸	4%	7664-38-2
水	非公開	7732-18-5

官報公示整理番号 : 全成分が化審法・安衛法に登録されているか、既存化学物質として扱われる。
(化審法・安衛法)

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易
に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
腐食の影響があるため、無理に吐かせない。
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 応急措置をする者の保護 : 適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 情報なし。

5. 火災時の措置

- 消火剤：乾燥化学粉末、耐アルコール泡、二酸化炭素(CO₂)、水噴霧、砂、土
- 使ってはならない消火剤：情報なし。
- 火災危険性：燃焼によって有毒ガスを生成する。
- 特有の消火方法：周囲の火災に適した消火剤を使用する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
適当な距離から注意して消火すること。
風上から近づく。
可能であれば火から遠ざけ、不必要な危険を避ける。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護：適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
適切な呼吸用保護具を着用する。
火災の煙、または、分解生成物の蒸気を吸い込まない。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具
および緊急時措置：適切な保護具を着用して作業する。
ガス、フューム、蒸気や噴霧を吸入しない。
十分な換気を行う。
風上から近づく。
こぼれた場合、床が滑りやすくなることがある。
- 環境に対する注意事項：排水溝や河川に流さない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機
材：不活性吸収剤(砂、おがくず、ユニバーサル結合材、シリカゲル等)で吸収
する。
吸収した物質は、密封容器に回収する。
大規模の場合：大規模漏出は、砂や土で封じ込める。
大量に漏出した場合はポンプや吸引機を使って回収する。
- 二次災害の防止策：漏出物質により滑る危険がある。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。
- 安全取扱注意事項：皮膚、眼との接触を避ける。
適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
製品取扱い後には必ず手を洗う。
屋外または換気の良い場所で作業する。
ガス、フューム、蒸気や噴霧を吸入しない。
本製品を使用する場所で、飲食・喫煙は行わない。

保管

- 安全な保管条件：密閉容器に保管すること。
直射日光や高温を避けて保管すること。
施錠して保管すること。
アルカリから離して保管すること。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

- 安全な容器包装材料：情報なし。

- その他：高温、光で退色する場合があるが、性能に影響なし。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：

りん酸 (7664-38-2)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	リン酸 # Phosphoric acid
許容濃度	1 mg/m ³
規則参照	許容濃度等の勧告（2025 年度）産衛誌 67 巻
日本 - ばく露限界値 (厚生労働大臣が定める濃度の基準)	
現地名	りん酸
8 時間濃度基準値	1 mg/m ³
規則参照	労働安全衛生規則第 577 条の 2 第 2 項（令和 7 年 10 月 1 日適用物質）
アメリカ合衆国 - ACGIH - ばく露限界値	
ACGIH® TLV® TWA	1 mg/m ³
ACGIH® TLV® STEL	3 mg/m ³

- 設備対策： 暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。
適切な換気装置を使用する。
- 呼吸用保護具： 適切なマスクを着用する。
- 手の保護具： 適切な保護手袋
- 眼の保護具： 化学用ゴーグルまたは安全眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 長袖保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 液体
- 色： 桃色透明
- 臭い： 微臭
- pH： 約 1 (原液)
- 融点 / 凝固点： データなし
- 粘性： データなし
- 沸点： 約 100 °C
- 引火点： なし
- 可燃性： データなし
- 自然発火点： データなし
- 分解温度： データなし
- 燃焼熱量： データなし
- 蒸気圧： データなし
- 相対蒸気密度 (20°C)： データなし
- 比重(密度)： 約 1.02 g/ml (20 °C)
- 溶解度 (水溶性)： 水／任意に溶解する
- n-オクタノール / 水分配係数(Log Pow)： データなし
- 爆発限界 (g/m³)： データなし
- 粒子特性： データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	： 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	： アルカリ製品と接触することにより発熱反応する。
避けるべき条件	： 情報なし
混触禁止物質	： アルカリ
危険有害な分解生成物	： 熱分解により次のものを生成する：リン酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	： 区分に該当しない 構成成分からの計算値
急性毒性 (経皮)	： 区分に該当しない 構成成分からの計算値
皮膚腐食性／刺激性	： 重篤な皮膚の薬傷 構成成分に基づいて推定
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 重篤な眼の損傷 構成成分に基づいて推定
呼吸器感作性	： 情報なし
皮膚感作性	： 情報なし
生殖細胞変異原性	： 情報なし
発がん性	： 情報なし
生殖毒性	： 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	： 臓器の障害のおそれ りん酸(呼吸器) (NITE 分類)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 情報なし
誤えん有害性	： 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性 (LC50)	： 1100 mg/l (ヒメダカ/96 時間、OECD TG203 準拠)
残留性・分解性	
生化学的酸素要求量(BOD)	： 3 mg/l (ケ-ロメ-ター法、0.1%水溶液)
化学的酸素要求量(COD)	： < 10 mg/l (JIS K-0102 準拠、0.1%水溶液)
残留性・分解性	： 情報なし
生分解性	： データなし (OECD 302B 準拠)
生体蓄積性	： 情報なし
生態系 - 土壌	： 情報なし
オゾン層への有害性	： 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない。

13. 廃棄上の注意

内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。
都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理場にて処分する。
容器は内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1805
国連正式品名	: リン酸（水溶液）
国連分類	: 8
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 該当せず
指針番号	: 154

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質	: α -(アルキル(C=6~18))- ω -ヒドロキシリ[オキタン-1,2-ジール/オキシ(メチルタン-1,2-ジール)](数平均分子量が 1,000 未満であるものに限る。)
	監視化学物質	: 該当せず
労働安全衛生法	危険物	: 該当せず
	有機則	: 該当せず
	特化則	: 該当せず
	表示対象物	: 2027 年 3 月 31 日まで りん酸 2027 年 4 月 1 日施行 りん酸
	通知対象物	: 2027 年 3 月 31 日まで りん酸 (4%) 2027 年 4 月 1 日施行 りん酸 (4%)
	皮膚等障害化学物質	: 皮膚刺激性有害物質 りん酸 皮膚吸収性有害物質 該当せず
	がん原性物質 (作業記録等の 30 年保存対象物質)	: 該当せず
毒物及び劇物取締法		: 該当せず
化管法	第1種指定化学物質	: 該当せず
(PRTR 法)	特定第1種指定化学物質	: 該当せず
	第2種指定化学物質	: 該当せず
消防法		: 該当せず
船舶安全法		: 腐食性物質
航空法		: 腐食性物質
海洋汚染防止法	ばら積み輸送	: 供給された状態の製品には不適用
	個品輸送	: 該当せず

16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

この SDS は、JIS Z 7252:2019（GHS に基づく化学品の分類方法）に従って分類し、JIS Z 7253:2019（GHS に基づく化学品の危険有害情報の伝達方法ーラベル,作業場内の表示及び安全データシート（SDS））の要件に準拠しています。

記載内容の問い合わせ先 : キャノンメディカルシステムズ株式会社
 電話番号 044-520-2430
 F A X 番号 044-520-2681